

## 今週（3月25日から3月29日）の短期金融市場動向

### ●インターバンク市場

今週の無担保コールO/N物は、動意に乏しく横這い圏での推移が続いた。出合いの水準は、25日(月)から28日(木)までは、0.076~0.078%が中心となり、加重平均レートでは0.077%で横ばい推移が続いた。29日(金)は年度末につき、ビッド件数がやや減少した事から、出合い水準も僅かに低下する展開となった。

ターム物については、依然としてオファー・ビッドともにレート水準を探る状況にあるものの、1W~3M物を中心に0.13~0.17%程度で出合いが散見された。

日銀当座預金残高は、週初25日(月)に554兆円まで増加して始まった。その後も年度末による財政資金の支払いが継続された結果、29日(金)には561兆円程度まで増加しての着地見込みとなった。

### ●レポ市場

今週のGC T/N物は▲0.05~+0.08%近辺で推移した。28日の末初物では、一時的にレートが低下し▲0.05%近辺での出合いも散見された。

SC取引の個別銘柄では、2Y440~459回、5Y150~166回、10Y355~373回、20Y180~187回、30Y65~81回、40Y13~16回などで引合いが多く見られた。

### ●短国市場

今週の短国市場は、入札や買入オペなど特段のイベントがない中、週後半にかけて1Yゾーンがやや軟調に推移した。

### ●CP市場

今週のCP市場は月末初の発行週にあたり、複数の業態で大型発行が行われたものの、年度末の有利子負債圧縮の影響が大きく、全体としては大幅な償還超のマーケットとなった。

発行レートは、マイナス金利政策解除以降、依然としてレート水準は定まっておらず、銘柄や期間によってばらつきがみられた。

26日(火)には、マイナス金利政策解除後初のCP等買入オペが、事前予定通り4,000億円でオファーされた。結果は、按分レート+0.080%、平均落札レート+0.124%と、前回（按分+0.032%、平均+0.057%）比で、按分・平均ともに大きく上昇した。

### ●短期金融市場関連指標

	日経平均 (円)	新発10年物 国債利回り (%)	為替 (ドル/円中心相場)	無担保コールO/N (加重平均・%)	東京レポレート(翌日物・ T+1スタート・%)	日銀当座預金残高 (億円)
3/25 (月)	40,414.12	0.730	151.38	0.077	0.000	5,538,200
3/26 (火)	40,398.03	0.735	151.31	0.077	0.025	5,565,300
3/27 (水)	40,762.73	0.715	151.75	0.077	0.010	5,580,600
3/28 (木)	40,168.07	0.705	151.40	0.077	0.005	5,582,400
3/29 (金)	40,369.44	0.725	151.25	0.074	0.010	5,611,900

## 来週（4月1日から4月5日）の短期金融市場動向

### ●経済カレンダー

	国内主要経済指標	国債等入札予定			海外主要経済指標
4/1 (月)	3月調査の日銀短観(概要及び要旨,日銀 8:50)				3月のISM製造業景況指数 2月の米建設支出 EURO、London祝日(Easter Monday)
4/2 (火)	3月のマネタリーベース(日銀 8:50) 財政資金対民間収支前月実績/当月見込み(財務省 15:00)	10Y 26,000億円 4/3発行			2月の米製造業新規受注・出荷・在庫
4/3 (水)	4月の日銀当座預金増減要因見込み(日銀 8:50)	TB3M 58,000億円 4/4発行	交付税借入 13,000億円 4/11借入		3月のISM非製造業景況指数 3月のユーロ圏消費者物価指数速報値
4/4 (木)		30Y 9,000億円 4/5発行			2月の米貿易収支
4/5 (金)	3月のマネタリーベースと日本銀行の取引(日銀 8:50) 2月の全世帯家計調査(総務省 8:30) 2月の景気動向指数速報(内閣府 14:00)	TB3M 58,000億円 4/8発行	交付税借入 13,000億円 4/15借入		3月の米雇用統計 2月の米消費者信用残高

### ●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
4/1 (月)	600	▲ 15,400	▲ 14,800	国債補完	42,600		42,600	27,800	2Y発行▲29,000 償還12,800
4/2 (火)	1,200	▲ 5,000	▲ 3,800				0	▲ 3,800	
4/3 (水)	600	▲ 34,000	▲ 33,400	全店共通	▲ 23,500		▲ 23,500	▲ 56,900	交付税・地方特例交付金の払い 税・保険料揚げ 10Y発行▲27,000
4/4 (木)	800	▲ 1,000	▲ 200				0	▲ 200	TB3M発行▲58,000 償還55,700
4/5 (金)	400	▲ 7,000	▲ 6,600				0	▲ 6,600	恩給 30Y発行▲9,000
週間合計	3,600	▲ 62,400	▲ 58,800	—	19,100	0	19,100	▲ 39,700	

4/1は日銀予想、4/2以降は当社予想

### ●短期金融市場の見通し

無担保コールO/N物は、引き続き付利金利との裁定を目的とし、0.077%程度での出会いが中心となる事が予想される。債券レポ GC T/N物のレート水準は、参加者のスタンスに大きな変化がなければ、▲0.05～+0.05%程度での推移が見込まれる。短国市場は、3日(水)と5日(金)に3M物の入札実施が予定されている。また、短国買入オペは、4日(木)に1,000億円程度で実施が予想される。CP市場は、期初発行が予定されており、市場残高がどの程度回復するか動向が注目される。

主要なイベントは、国内では1日(月)に3月調査の日銀短観、海外では、1日(月)に3月のISM製造業景況指数、3日(水)に3月のISM非製造業景況指数、3月のユーロ圏消費者物価指数速報値、5日(金)に3月の米雇用統計などの発表が予定されている。

◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。

◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目録見書をよくお読みください。

セントラル短資株式会社 登録金融機関関東財務局長（登金）第526号 日本証券業協会加入